

第4学年 モジュール学習指導案

1 モジュールタイムの内容

国語科(15分)	算数科(15分)	社会科(15分)
音読・暗唱 「外郎売り」「百人一首」 ^{31～35} 百人一首カルタ ^{21～30}	10ますひき算 100ますひき算 わり算50	都道府県と県庁所在地 福岡県の市町村 伝統工芸・祭りフラッシュ

2 本時 平成20年11月12日(水) 5校時 教室

3 本時指導のねらい

集中して学習に取り組む態度を育てる。

音読を通して言葉のリズムと響きを楽しむとともに、音声での表現力をつける。

減法・除法計算を確実に解くことができる。

日本地図上の位置を見て、都道府県と県庁所在地や福岡県の市町村を言うことができる。

4 学級の実態と培いたい内容

【習慣・構え】

準備

5分前に、鉛筆2本・赤鉛筆1本・定規を準備すること、使わないプリントは引き出しにしまうことをルールにしているが、机上整理がうまくできない児童もいる。始業前に声をかけ、すべての児童が準備万端で授業に臨めるようにしたい。

姿勢

着席でも起立でも、足の裏を床につけ、腰骨を立てて、顎を引き、腹筋に力が入るような姿勢を目指している。腹筋を意識するため、腹に手を当てて音読させる場合もある。また、鉛筆を正しく持ち、姿勢よく書かせたいが、特に100ます計算では姿勢がよくない。机と目の距離を20cm以上に保てるよう「パー2こ分」と声をかけ、改善に努めている。

話し方・聞き方

授業中、教室の中央を向いて話すことはできるが、はっきりとした発音で話すことのできる児童は少ない。発音・発声を重点的に指導し、響く声ではっきりと話す力を育てたい。また、話し手の顔を見て聞くだけでなく、うなずく、相づちをうつなどの反応を示しながら聞くことを目指している。本時では、学習机をコの字型に配列し、互いの顔が見えるようにしている。

【手順・方法】

百人一首カルタ

上の句を聞き逃さないよう、教師の範読を真剣に聞く姿が見られる。初めの1字を聞いただけで反応する児童もいれば、得意な句だけを一生懸命待つ児童もいる。本時では、まだ暗唱できていない歌の音読・暗唱練習と、覚えた歌のカルタ遊びを行う。

教師の範読を聞き、リズムよく音読する。

上の句を聞けば下の句を言えるという状態まで暗唱する。

覚えた歌を使ってカルタ遊びをする。

10 ます・100 ます計算・わり算 100

同じ計算を繰り返し行うことで、自己のタイムをのばし、達成感を味わうことができている。

4～5 月 100 ますたし算 タイム 2 分以内...約 61% 約 71%

6～7 月 100 ますひき算 タイム 2 分以内...約 57% 約 77%

9～10 月 わり算 50 タイム 5 分以内...約 35% 約 70%

「ひく , 用意, 始め。」の合図で 10 ますずつ計算する。(10 秒以内)

10 ます計算をし終えたら「はい。」と言い、自分のタイムを聞いて記録する。

10 ます×10 列の計算をし終えたら裏返し、次の準備をする。

教師の手が下りたら、100 ます計算を始める。(5 分以内)

100 ます計算をし終えたら、150 ます計算プリントを取りに行き、時間終了まで取り組む。

答えを聞き、まちがっている答えを で囲む。

終わったプリントを引き出しにしまい、わり算 50 の準備をする。

わり算 50 をし終えたら算数パズルを取りに行き、時間終了まで取り組む。

答え合わせの後、自己評価表に記入する。

5 本時指導の展開

配時	主な学習活動と内容	教師の支援・指導上の留意点
(15分) 7分 8分	1 国語 (1) 音読・暗唱 「外郎売り」 「百人一首」 ^{31～35} (2) 百人一首カルタ ^{21～30}	よい発音・発声で音読できるよう、必要に応じて、口の 開け方・息の吸い方を細かく指示する。 姿勢や表現の相互評価ができるように、互いの顔が見え る方向を向いて音読させる。 暗唱できているかどうかにかかわらず、声を出すことを 楽しみながら音読できるようにする。 集中力を持続させるため、準備や移動を静かに速く行わ せる。 児童が覚えた歌を想起する時間を与えるため、上の句を ゆっくり読む。
(15分) 5分 5分 5分	2 算数 (1) 10 ますひき算 (2) 100 ますひき算 (150 ます計算) (3) わり算 50 (算数パズル)	プリントへ丁寧に記名させる。 児童の活動時間を確保するため、指示は短くする。(「始 め。」、「やめ。」等) 計算に苦手意識をもつ児童も意欲的に取り組めるよう、 励ましのスタンプを押しながら机間指導を行う。 集中力が途切れないよう、活動後に取り組む計算プリン トを数カ所に用意しておく。
(15分) 5分 5分 5分	3 社会 (1) 都道府県と県庁所在地 (2) 福岡県の市町村 (3) 伝統工芸・祭りフラッ シュ	脳を活性化するため、視覚的な情報を瞬時に与えること のできる画像を、プロジェクターでスクリーンに写し出し、 素早く出題していく。 緊張感をもたせるため、少人数で答える場も設定する。

